



高田製薬株式会社

会社説明

私たち高田製薬は、「独創的な製品を開発し、高品質の製品を適正に供給することにより、人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げ、研究開発型の会社として主に医薬品の研究開発、製造、販売事業を展開しています。

提供する製品によって少しでも医療に貢献するため、高田製薬ならではの独創的な高付加価値製品の開発を常に目指しています。そして、国内にとどまらず、高品質な医薬品を待ち望んでいる世界中のすべての方々の力になりたい、と願っています。

【経営理念】

私たちは研究開発型企業として、常に技術の向上を図り、独創的な製品を開発し、高品質の製品を適正に供給することにより、人々の健康に貢献し、社会的信用を確保するとともに、会社の発展と社員の幸福および協力者の共栄を求めて事業を進めて参ります。

【研究開発活動】

私たちは、独創的なジェネリック医薬品の研究開発を行っています。

ジェネリック医薬品とは、新薬と有効成分、含量、用法・用量が同一で、効能・効果が同等な医薬品のことをいい、通常、新薬の再審査期間及び特許期間の満了後に市場に出されます。本格的な高齢化社会を迎え国民医療費の増大が予想される中で、低価格なジェネリック医薬品は、国民負担の軽減に貢献することが期待されています。また、同じ有効性・安全性の新薬に、患者さんがより服用し易い味や大きさ・形などの工夫が加えられることもジェネリック医薬品の大きな役割です。

私たちは、味が苦い、錠剤が大きい、医師・薬剤師・看護師などが扱いにくい、などの問題を改良した高田製薬ならではの独創的なジェネリック医薬品を生み出すため、これまで蓄積してきた経験と新たな技術を活用し製剤研究を進めています。たとえば、私たちの生み出した小児用ドライシロップ製剤や、点滴注射用キット製剤などは、代表的な製品として医療に貢献しています。

こうした製剤研究から生まれる医薬品が、人々の明日の健康にさらに貢献できることを信じ、私たち高田製薬はチャレンジを続けています。

【開発受託】

お客様のニーズに合わせ、処方・製法設計等の開発業務を受託いたします。
処方・製剤設計から安定性試験用検体製造、治験薬製造まで。

<主な取り扱い剤形>

- 経口製剤
裸錠/フィルムコーティング錠/口腔内崩壊錠/チュアブル錠/顆粒剤（細粒剤）/シロップ剤/シロップ用剤（ドライシロップ）
- 注射剤（注射液剤/凍結乾燥注射剤）

<製剤開発の得意分野>

服用し易い錠剤、顆粒剤、細粒剤及びドライシロップ剤
例）味が良い小児用ドライシロップ剤、ロドけが良いOD錠等

【固形製剤・注射剤の主力工場】

大宮工場

全4棟で構成されている大宮工場では、錠剤、カプセル剤等の経口固形製剤から、凍結乾燥注射剤等の注射剤まで様々な剤型の医薬品を製造しています。

なかでも、特殊な製剤技術を要する顆粒、ドライシロップ（DS）などの粉状製剤や、凍結乾燥剤などについては、蓄積された経験をもとに最新技術・機器を導入し、更なる充実を目指しています。

大宮第二工場

軟膏剤、クリーム剤、ローション剤等のステロイド外用剤の専用工場です。最新の生産設備と技術を導入し、原料から最終包装まで一貫体制を整え、高効率での大量生産を可能にしました。

製品の出荷までの全工程は、高水準の品質管理体制により厳しく管理。さらにワンウェイの生産動線や作業室のバリヤージシステムなどによる汚染対策、多彩な防虫対策など、厳格なGMP対応を実現しています。

北埼玉工場

バイアル凍結乾燥注射剤、アンプル液注射剤、アンプル凍結乾燥注射剤を生産する注射剤専用工場です。

作業者の介入に起因する微生物汚染の可能性を徹底的に排除すべく、無人搬送、CIP・SIP（定置清浄化・定置蒸気滅菌）、サンプルの自動系外取り出し等を採用した最新工場です。

幸手工場

錠剤、顆粒剤(細粒、ドライシロップ)など内服固形製剤を生産する幸手工場は、最新設備の導入と自動化により効率化された3極GMP対応の最新工場です。各製造工程は製造管理システムにより人為的ミス無くし、3次元フローピンシステムを採用することで人と物の動線を完全分離して、交叉汚染や異物の混入を防止しています。お客様から信頼される最高品質を提供していきます。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

医薬品の製造・販売、清涼飲料水・健康食品の製造

代表取締役

高田 浩樹

設立年

1928（昭和3）年11月

資本金

10億8,884万円

従業員数

501 - 1,000人

URL

<https://www.takata-seiyaku.co.jp/index.html>

オフィス情報

メインオフィス

〒3368666

埼玉県 さいたま市南区 沼影1丁目11-1